

令和5年度 当初予算案等の概要

I	令和5年度予算案総括表	P 1
II	令和5年度予算案の概要	P 1
	1. 確かな学力の向上	P 1
	2. 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成	P 3
	3. いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	P 4
	4. 特別支援教育の推進	P 7
	5. 魅力ある高校教育の推進	P 9
	6. グローバル社会を生きるキャリア教育の推進	P 9
	7. 教職員の資質・能力の向上・活性化	P 9
	8. 安心して学ぶことができる教育環境の整備	P 10
	9. 教員が子どもと向き合う環境づくり	P 11
	10. 放課後等における居場所の充実	P 12
	11. 図書館事業の充実	P 12
III	令和5年度組織編成案	P 13

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



I 令和5年度予算案総括表

区分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	差引増減 (C) = (A) - (B)	伸び率 (C)/(B)
一般会計	1兆497億5,600万円	1兆410億1,000万円	87億4,600万円	0.8%
うち教育委員会 所管予算	1,390億1,482万円	1,359億4,627万円	30億6,855万円	2.3%
一般会計に占める 教育費の割合	13.2%	13.1%	—	—

II 令和5年度予算案の概要

1. 確かな学力の向上

拡充 教育データ連携基盤の構築

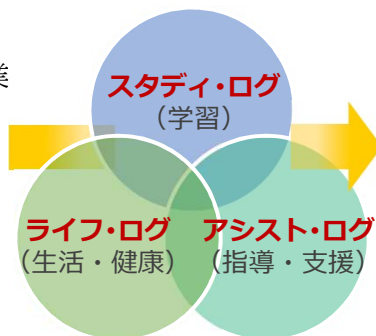
※ 令和5年度及び令和6年度の債務負担行為 9,716万円

データ駆動型教育への転換に向け、各種教育データを可視化し、個別最適な学びと効果的な教育施策の立案等を推進するため、「教育データ連携基盤」の構築に着手

教育データの活用イメージ

Before

- ・ 個々の教師の経験や力量に左右される授業
- ・ 一斉授業の内容についていけない



After

- 児童生徒は自己の学習状況をデータにより把握した上で、目標を立て、主体的に学習
- 教師は児童生徒の個々の状況をデータにより把握した上で、学習指導や生徒指導を実施
→ 個別最適な学びの一層の推進

新規

動画教材を活用した学びの改革検証事業

990万円

小・中学校モデル校の授業や不登校児童生徒の学び直しなどで動画教材を活用し、効果を検証

動画教材

1人1台端末で
視聴

小1～中3まで
すべての内容の
学習動画
(5教科)

復習や確認のため
のドリル/テスト
教材
(5教科)

授業での活用と
児童生徒がいつでも、どこでも
学ぶことが可能！

児童生徒の主体的な学びへの支援

- ・ 授業場面で活用し、児童生徒の興味関心を高め、学習内容の定着の補助
- ・ 予習や復習など家庭学習で活用し、個別最適な学びの実現



不登校児童生徒への支援

- ・ 詳細はP5参照



拡充**学力パワーアップ総合推進事業**

3,404万円

個別指導が必要な児童を対象に、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図るため、地域人材等を活用した放課後の補充学習を実施

H28年度～R元年度

ふれあい
学び舎事業

小学校3・4年生を中心に
希望する児童が地域人材とともに
学ぶ放課後補充学習を実施

成果

参加した児童の学力や
学習意欲の向上

R2年度～R4年度

新型コロナウイルス
の影響で休止

休止中も
ICTを活用して
教育課程内の
補充学習を実施

AIドリルの活用

習熟度にあった学習や
発展的な学習など
子ども一人ひとりの
個に応じた学びが実現

R5年度～

補充学習
の再構築**再開**放課後の
補充学習

- ・学習習慣の定着と
学習意欲の向上
- ・個別指導が必要な
児童への働きかけ

R5年度も継続

教育課程内
の補充学習**新規****学習指導員派遣事業**

7,753万円

学習指導員を配置し、子どもたちの学びの保障と1人ひとりの学習内容の理解と定着を推進

G I G Aスクール構想推進事業

12億9,317万円

学習者用デジタル教科書の整備、児童生徒1人1台端末の運用・管理等

オンライン環境支援事業

1億868万円

オンライン授業や家庭学習の際に、インターネット環境がない家庭へ貸し出すモバイルルータを整備

I C Tを活用した教育実践事例創出

437万円

児童生徒の学びの質の向上のため、モデル校でICTを活用した教育実践事例を創出し、全小中高等学校へ展開

ネイティブスピーカー委託事業

4億4,727万円

小学校5・6年、中学校全学年、特別支援学校において、ネイティブスピーカーを活用した英語教育を推進

小学校外国語活動支援事業

3,363万円

小学校3・4年において、ゲストティーチャーを活用した英語教育を推進

2. 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成

拡充 部活動支援事業 1億9,347万円

部活動指導員や部活動支援員を増員、休日の部活動の地域移行にかかるモデル事業を拡大

	令和4年度		令和5年度	
部活動指導員 A	110人	▶	222人	増員
部活動支援員	290人	▶	348人	増員
休日の運動部活動地域移行に向けたモデル事業	部活数	2部活	4部活	拡大
	期間	9月～2月	4月～3月	

拡充 学校水泳指導における民間プールの活用モデル事業 1,447万円

民間委託による水泳指導の充実、教員の負担軽減、学校プール維持管理費削減等の効果検証(モデル実施校を1校から3校へ拡大)

新規 全国高等学校総合体育大会開催事業 649万円

令和6年度に開催される全国高等学校総合体育大会のバスケットボール競技大会開催に向けた準備等

拡充 学校の給食費物価高騰分を支援 6億9,575万円

保護者の負担を増やすことなく、学校給食の質の維持を図るため、給食食材の価格高騰相当額を支援
(小学校分:4億3,298万円、中学校分:2億4,855万円、特別支援学校分:1,422万円)



3. いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

教育相談コーディネーターの配置

全中学校ブロックに不登校児童生徒への対応を行う専任の教員を配置

スクールカウンセラー活用事業

4億8,528万円

全ての市立学校にスクールカウンセラーを週2日配置

スクールソーシャルワーカー活用事業

3億261万円

全ての市立学校にスクールソーシャルワーカーを配置

教育相談機能の充実

7,507万円

教育カウンセラーによる電話相談等の実施、適応指導教室の運営

SNSを活用した教育相談事業

1,924万円

SNSを活用した教育相談を実施し、教育相談体制を充実

いじめゼロプロジェクト

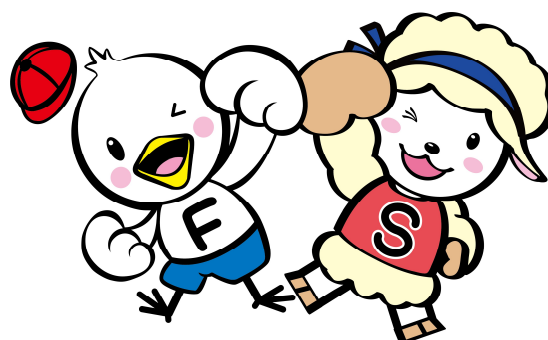
300万円

いじめゼロを目指すため、児童生徒を主体とする行事の開催等

学校ネットパトロール事業

493万円

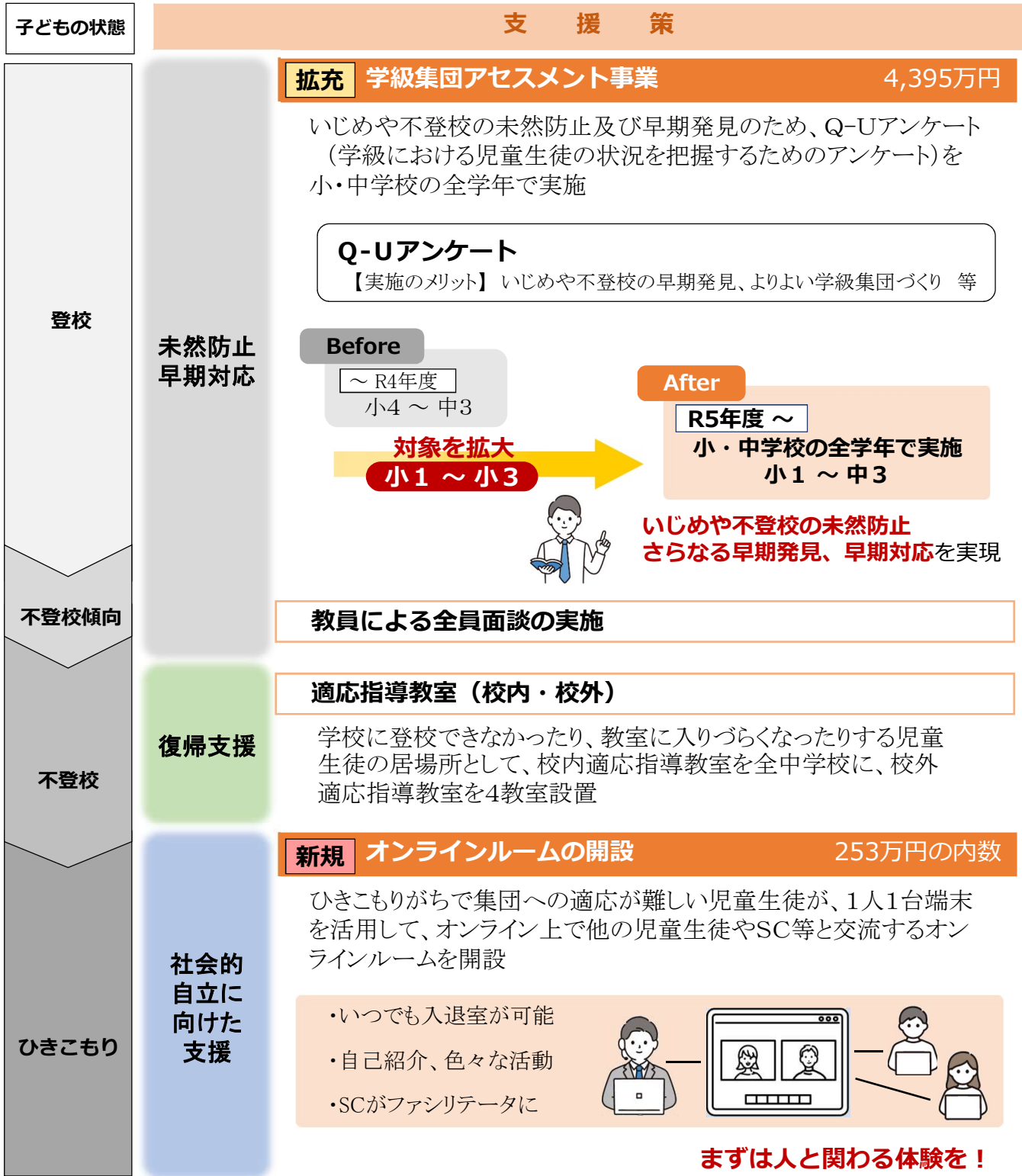
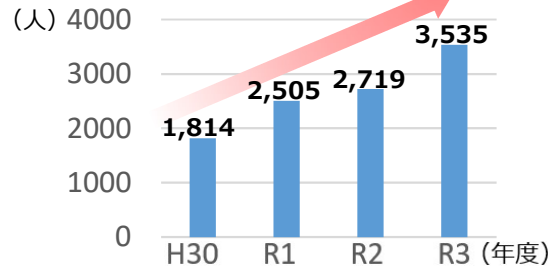
学校非公式サイトをはじめとするネット上の問題のある書き込みや画像の監視



不登校児童生徒への支援の充実

コロナ禍での自粛生活による生活リズムの乱れや価値観の多様化等に伴い、不登校児童生徒数が年々増加するとともに、不登校の要因や背景、支援ニーズが多様化していることから、新たな施策を展開し、個々の児童生徒に応じた適切な支援を実施。

不登校児童生徒は年々増加



共通の支援

専門スタッフによる連携した支援

スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)、教育相談コーディネーターを配置し「教育・心理・福祉」の専門スタッフによる連携した支援を実施

教育

教育相談コーディネーター
教育相談の中心的な役割

連携

心理

スクール
カウンセラー
カウンセリングを
通じた心のケア

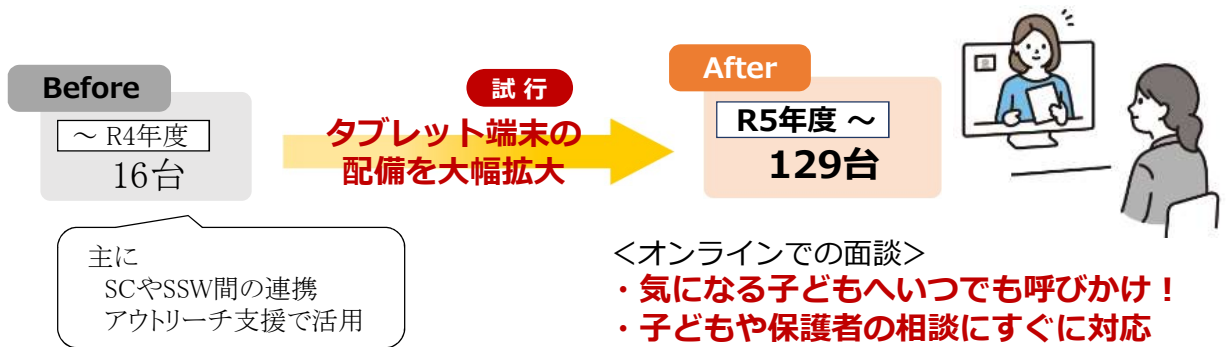
福祉

スクール
ソーシャルワーカー
福祉の面の支援、
関係機関との連携

拡充 ICTを活用した支援の充実（オンライン相談等）

253万円の内数

SCやSSWからの児童生徒へのアウトリーチ支援を充実させるため、SC、SSWへのタブレット端末配備を拡大

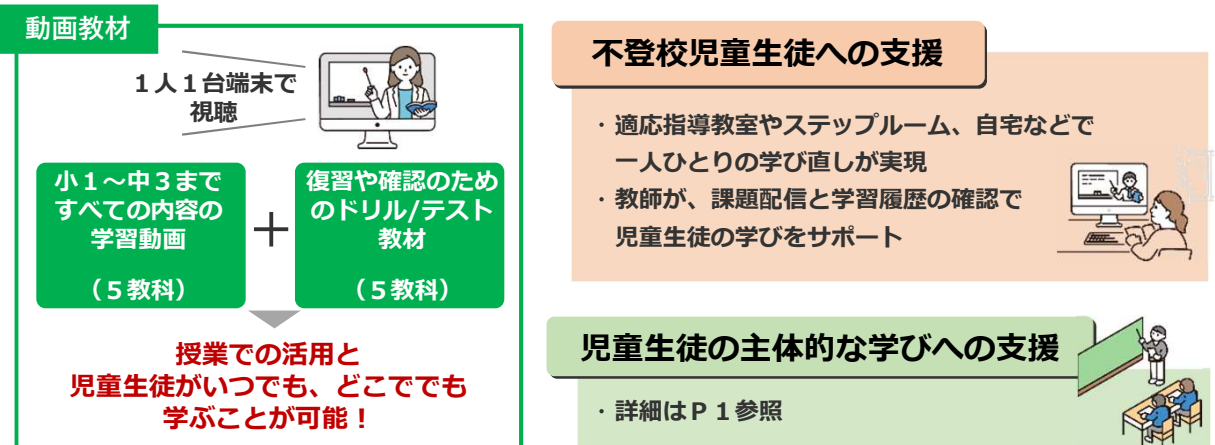


新規 動画教材を活用した学びの改革検証事業

【再掲P1】

990万円

不登校児童生徒の学び直しや小・中学校モデル校の授業などで動画教材を活用し、効果を検証



新規 不登校児童生徒に対する支援のあり方検討事業

27万円

不登校児童生徒等へのアンケート調査を実施し、今後の支援のあり方を検討



4. 特別支援教育の推進

拡充

特別支援学校校舎等施設整備

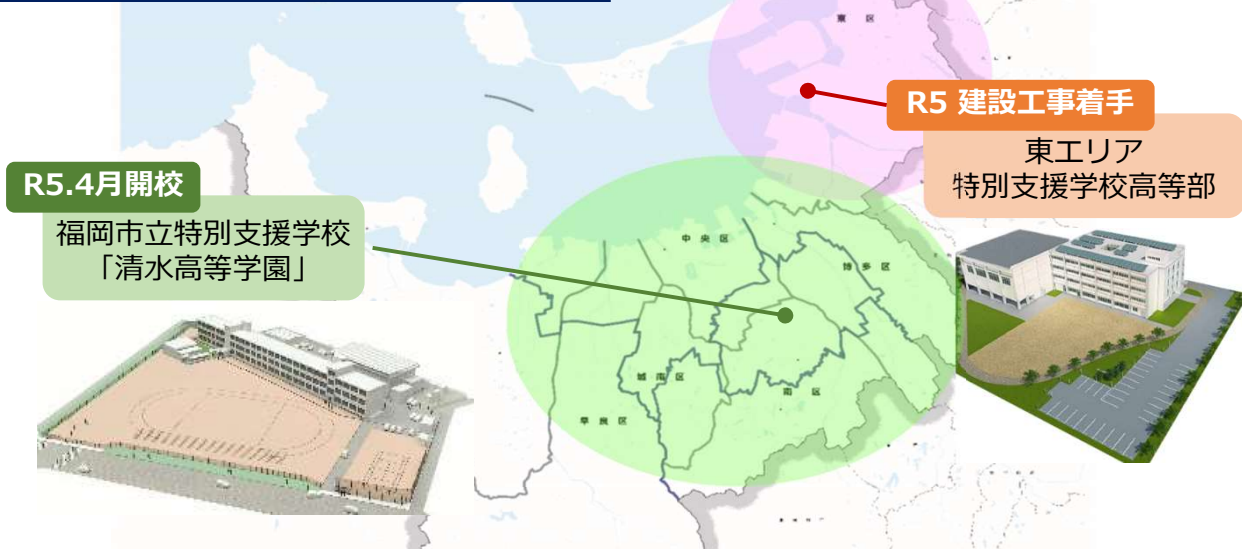
2,657万円

特別支援学校「清水高等学園」4月開校

令和7年4月開校に向け、東エリア特別支援学校高等部の校舎等建設工事等

就労を目指した教育課程

- 自立して社会で活躍する生徒の育成
- 特別支援学校卒業生の**就労率向上**



拡充

自閉症・情緒障がい特別支援学級の整備

1億3,401万円

対象となる児童生徒数の増加等に伴い、自閉症・情緒障がい特別支援学級を大幅に拡大 ※新設(小学校15校、中学校4校)、増級(小学校7校、中学校4校)

福岡市における設置の考え方

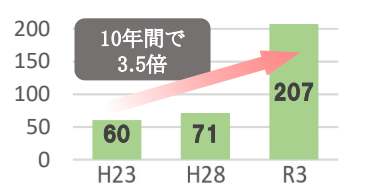
「拠点となる学校に設置」

- ・専門性の高い教員による指導
- ・安全を見守る職員の配置

課題

- 対象となる児童生徒の増加
- 居住校区に通わせたいという保護者の要望の増加

就学相談で対象となった児童生徒数



文部科学省調査 (R4.12月公表)

発達障がいのある児童生徒の割合



これまでの設置学級

R2 47学級 R3 56学級 R4 63学級

9学級増

7学級増

徐々に増級

R5

**新たに30学級
大幅拡大**

※以降、計画的に拡大

居住校区の学校での
インクルーシブ教育の推進

保護者による送迎の
負担軽減

拡充**通級指導教室整備**

1億1,147万円

LD・ADHD等通級指導教室の新設(小学校3校、中学校2校)、増級(小学校2校)

エレベーターの設置

698万円

常時車いすを使用して生活する生徒が在籍している中学校へエレベータを設置するため、設計を実施(中学校1校)

別途繰越あり
(R4n→R5n)
1億7,021万円

〔※ 令和4年度2月補正(5年度への繰越)分
エレベーター工事(小学校2校、中学校1校) 〕

新規**医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援**

1,091万円

福祉タクシー等を活用し、医療的ケアが必要な特別支援学校児童生徒の登校支援を試行的に実施

現状

○安全に医療的ケアを行うための停車場所が通学コースにないため、スクールバスでの通学は困難

○通学時の送迎と医療的ケアは保護者が実施しており、負担大

R5**登校支援を試行実施****【対象】**

通学時に医療的ケアが必要な児童生徒22名
(R5.4月予定)

※保護者が希望しない場合は除く

【回数】

週1回程度

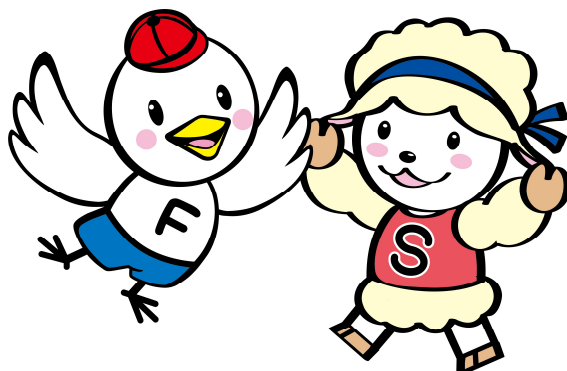
**【方法】**

- ① 福祉タクシー ※看護師が同乗
- ② 福祉事業所が提供する福祉車両

拡充**学校生活支援事業**

5億1,912万円

配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援員を増員(318名→375名)



5. 魅力ある高校教育の推進

拡充 魅力ある高校づくりの推進 360万円

各高校の特色を生かし、さらなる魅力化に取り組むとともに、特に専門学科を有する高校については、社会経済の変化を踏まえた今後のあり方を検討

6. グローバル社会を生きるキャリア教育の推進

アントレプレナーシップ教育 338万円

小学校「職業探究プログラム」、中学校「未来を切り拓くワークショップ」等のキャリア教育を推進

ネイティブスピーカー委託事業 【再掲P2】 4億4,727万円

小学校5・6年、中学校全学年、特別支援学校において、ネイティブスピーカーを活用した英語教育を推進

小学校外国語活動支援事業 【再掲P2】 3,363万円

小学校3・4年において、ゲストティーチャーを活用した英語教育を推進

7. 教職員の資質・能力の向上・活性化

教職員の指導力向上を図る研修 1,496万円

教職員の指導力向上を図るため、経験年数や職能に応じた研修を実施するほか、ICT指導力向上研修など課題に応じた研修を実施

I C Tを活用した教育実践事例創出 【再掲P2】 437万円

児童生徒の学びの質の向上のため、モデル校でICTを活用した教育実践事例を創出し、全小中高等学校へ展開



8. 安心して学ぶことができる教育環境の整備

(1) 教育環境整備の推進

子どもたちが安心して学習できる良好な教育環境の確保と維持を図ります

「より良い学習環境のための施設整備」と「校舎やトイレ等の老朽化対策」を推進

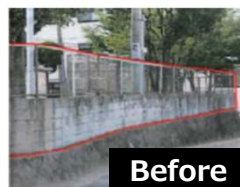
◆ 校舎のリニューアル
(内外装、設備等)



◆ トイレの
洋式化・乾式化



◆ ブロック塀の安全対策



大規模改造事業

12億6,041万円

経年により老朽化した校舎等の大規模改造を実施するほか、建替えモデルプランを作成

校舎及び附属施設等整備

29億8,959万円

内外壁等学校附属施設の改修、トイレの洋式化・乾式化等

新規

箱崎中学校移転等の検討

1,544万円

箱崎中学校の移転に向けた校舎及び教育研究施設の基本計画を実施

(2) 学校規模適正化の推進

子どもたちにより良い教育環境を提供するため、過大規模校の分離新設等による学校規模の適正化を推進

過大規模校への対応

過大規模(31学級以上)の状態が長期に継続すると見込まれる場合



- 学校の分離新設
- 通学区域の変更
- 校舎増築等

学校の分離新設

アイランドシティ地区新設校整備

43億3,729万円

(仮称)照葉はばたき小学校の校舎建設工事等

元岡地区新設中学校整備

7億7,350万円

元岡中学校の分離新設に向けた造成工事等

校舎増築等

教室の増設等

2億7,979万円

舞鶴小中学校の校舎増築に向けた実施設計、西新小学校の第2グラウンド整備等

9. 教員が子どもと向き合う環境づくり

新規	学習指導員派遣事業	【再掲P 2】	7,753万円
	学習指導員を配置し、子どもたちの学びの保障と1人ひとりの学習内容の理解と定着を推進		
拡充	部活動支援事業	【再掲P 3】	1億9,347万円
	部活動指導員や部活動支援員を増員、休日の部活動の地域移行にかかるモデル事業を拡大		
拡充	学校生活支援事業	【再掲P 8】	5億1,912万円
	配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援員を増員(318名→375名)		
新規	産休育休代替対応の非常勤講師		
	年度途中からの産休育休に対する代替講師を、年度当初から非常勤講師として任用		
拡充	スクール・サポート・スタッフ配置		3億1,508万円
	教員の負担軽減を図るため、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うスタッフの配置を拡充		
拡充	共同学校事務室運営事業		860万円
	共同学校事務室の整備事業にかかる経費等		
拡充	校務情報化推進事業		11億7,982万円
	校務用情報機器等の整備、高機能複合機、デジタル採点システムの導入		

教員の時間外業務を減らしつつ、子どもと向き合う時間を十分確保するために…

ソフト面 からのサポート

令和4年度	令和5年度
学習指導員	
—	221人 新設
部活動指導員A	
110人	222人 倍増
学校生活支援員	
318人	375人 増員

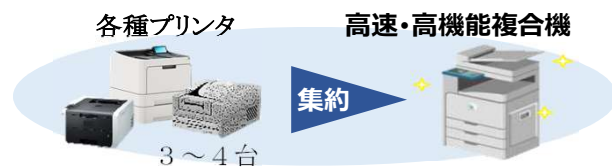
その他のサポート

- 新規** 産休育休代替対応の非常勤講師
- 拡充** スクール・サポート・スタッフ
共同学校事務室の増室準備 など

ハード面 からのサポート

新規 高機能複合機の導入 デジタル採点システムの導入

事務作業と採点業務を効率化し、教員の負担を軽減



	現 状	今 後
複合機	印刷が遅い 白黒印刷主体 消耗品の発注が煩雑	高速高機能な印刷 カラー消耗品を含む 定額プランに
採点	定期テストなどの 採点業務は負担大	採点時間を大幅削減 結果をデータ化し 指導に活用

スクールカウンセラー活用事業 【再掲P 4】 4億8,528万円

全ての市立学校にスクールカウンセラーを週2日配置

スクールソーシャルワーカー活用事業 【再掲P 4】 3億261万円

全ての市立学校にスクールソーシャルワーカーを配置

10. 放課後等における居場所の充実

放課後児童クラブ事業

45億5,355万円

保護者等が昼間家庭にいない児童を対象に遊びと生活の場を提供
施設の狭あい化等への対応として、施設の増改築等を実施(6施設)

※3月議会へ「留守家庭子ども会」から「放課後児童クラブ」への名称変更についての
条例改正案を提出

放課後等の遊び場づくり事業

4億8,104万円

放課後等に学校施設を活用し、自由に安心して遊びや活動ができる場や機会を創出

11. 図書館事業の充実

アジア映画等貸与事業

154万円

開館以来収集してきた映像資料の有効活用のため、公的な施設や団体へ貸与

電子図書館推進事業

816万円

利用者の電子端末で電子書籍を検索・予約・貸出できる電子図書館サービスを提供



Ⅲ 令和5年度組織編成案

変更等

新設

令和4年度（R4.4.1時点）

令和5年度 編成案（R5.4.1時点）

教育委員会 308

教育委員会 313

教育次長

教育次長

理事

理事

└ **総務部 38**

└ **総務部 38**

└ 総務課

└ 総務課

└ 教育政策課

└ 教育政策課

└ 放課後こども育成課

└ 放課後こども育成課

└ 人権・同和教育課

└ 人権・同和教育課

└ 生涯学習課

└ 生涯学習課

（市民局生涯学習課長が兼務）

（市民局生涯学習課長が兼務）

└ **職員部 66**

└ **職員部 66**

└ 職員課

└ 職員課

└ 服務指導課

└ 服務指導課

└ 労務・給与課

└ 労務・給与課

└ 教職員第1課

└ 教職員第1課

└ 教職員第2課

└ 教職員第2課

└ **教育環境部 53**

└ **教育環境部 53**

└ 教育環境課

└ 教育環境課

└ 施設課

└ 施設課

└ 用地・建替計画課

└ 用地・建替計画課

└ 通学区域課

└ 通学区域課

部長※学校施設アセットマネジメント

部長※学校施設アセットマネジメント

└ **教育支援部 41**

└ **教育支援部 43**

└ 教育支援課

└ 教育支援課

└ 健康教育課

└ 健康教育課

└ 課長※学校等感染症対策

└ 課長※学校等感染症対策

（課長は健康教育課長が兼務）

└ 給食運営課

└ 給食運営課

└ 学校給食センター

└ 学校給食センター

（所長は給食運営課長が兼務）

（所長は給食運営課長が兼務）

令和4年度 (R4.4.1時点)	令和5年度 編成案 (R5.4.1時点)
<p>└ 指導部 64</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 学校企画課 └ 小学校教育課 └ 中学校教育課 └ 高校教育課 (部長※高校教育等事務取扱) └ 安全・安心推進課 └ 教育ICT推進課 └ 教育相談課 (こども未来局こども総合相談センター教育相談課長を兼務) └ 発達教育センター <p>部長※高校教育等</p> <p>└ 教育センター 13 (職員部長が兼務)</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 人材育成課 <p>└ 総合図書館 31</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 運営課 └ 図書サービス課 └ 文学・映像課 	<p>└ 指導部 67</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 学校企画課 └ 小学校教育課 └ 中学校教育課 └ 高校教育課 └ 安全・安心推進課 └ 課長※学校法務 └ 教育ICT推進課 └ 教育相談課 (こども未来局こども総合相談センター教育相談課長を兼務) └ 課長※特別支援学校開校準備等 └ 発達教育センター <p>部長※高校教育等</p> <p>└ 教育センター 13 (職員部長が兼務)</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 人材育成課 <p>└ 総合図書館 31</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 運営課 └ 図書サービス課 └ 文学・映像課